

東北支援 ボランティア 交通情報

(主要駅のみ掲載)

2011年 7月16日現在



鉄道 (在来線・新幹線)



運行 バス代行
----- 不通

※臨時ダイヤ・代行バス時刻表は下記ホームページに掲載

- ・JR東日本 <http://www.jreast.co.jp/>
- ・三陸鉄道 <http://www.sanrikutetsudou.com/>
- ・仙台空港鉄道 <http://www.senat.co.jp/>



路線・振替・臨時バス

鉄道代行バス (左図の細実線区間) については
JR東日本Webまたは 050-2016-1600 へ

二戸駅～久慈駅

JRバス東北 二戸営業所 0195-23-5229

宮古地区、山田線方面、北リアス線方面
岩手県北バス 宮古営業所 0193-64-6060
久慈営業所 0194-53-5200
<http://www.iwate-kenpokubus.co.jp/>

釜石地区、大船渡・高田地区、盛～釜石、
一ノ関～高田・大船渡、一ノ関～気仙沼、
盛岡～大船渡、仙台～大船渡 など
岩手県交通 019-654-7755
<http://www.iwatekenkotsu.co.jp/>

気仙沼～本吉～志津川～柳津 (気仙沼線沿線)
仙台駅前～石巻、仙台～南三陸町～気仙沼 など
宮城交通・ミヤコーバス 022-771-5310
<http://www.miyakou.co.jp/>

※JR仙石線は高城町～矢本駅間が運休 (バス代行)

仙台市内 **仙台市交通局** 022-222-2256
名取駅～仙台空港駅間はバス代行(※)

※7/23、仙台空港鉄道 名取～美田園間が復旧予定。
(美田園～仙台空港間の復旧は9月末頃目標)

相馬市内、相馬市役所・新地町役場～仙台駅前
南相馬市役所～原ノ町駅～相馬市役所～福島駅
福島交通 相馬営業所 0244-36-2171
<http://www.fukushima-koutu.co.jp/>
※川俣～原町間は飯館村の計画避難により全線運休

いわき市内 中央営業所【路線】0246-46-0200
いわき駅～仙台駅東口【高速】0246-46-0222
新常磐交通 <http://www.joko.co.jp/>
※相双地区 (原発30km圏内) と南相馬市内の路線は
全線運休 (高速バスは いわき駅まで区間運行)

持続可能な地域交通を考える会
Sustainable Local Transit committee, Kawasaki Japan.



© 2011.04



■国土交通省「震災に対応した鉄道代替バスの運行状況」

⇒ http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000091.html

■国土交通省「岩手県及び宮城県の沿岸地区における路線バスの運行状況」

⇒ http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000092.html

※復旧や余震等の状況により変更があり得ます。最新情報のご確認を！



東北支援ボランティア交通情報

ボランティアへ行く前に…



- 受け入れ体制を確認しよう
- 仲間を探そう（グループで行動しよう）
- 往復の交通手段を確認・確保しよう（鉄道、高速バス、送迎バスなど）
- 切符と宿を確保しよう
- 保険への加入を検討しよう
- 現地での連絡手段を確保しよう
- 行先と宿泊先の場所・連絡先を家族や友人に伝えてから出かけよう



必要な持ち物を揃えよう…

- キャンディ、パン、水など携行食品
- ラジオ、懐中電灯
- 電池
- 携帯電話、充電器
- 小銭
- 保険証
- 筆記具、メモ用紙、テープ、ビニール袋
- 動きやすい服装、軍手、マスク、帽子
- 地図、路線図、バス時刻表など
- リュックなど両手が空くバッグ
- その他（着替え、歯ブラシ、応急セットなど旅行時に必要な物）

現地では、帰りには…

- 無理は禁物。無理な仕事は引き受けず、十分な休息を取るようにしましょう。
- 名札を付ける、地域のボランティアセンターと連絡を取るなど、円滑な活動に有効です。
- 食事や移動のときは、地域の商店や交通機関でお金を使うことも支援につながります。
- 荷物は宅配便で送ることができます。行先が分かっているならば近くの郵便局や営業所止めにしてお送りすることもできますが、到着までに時間がかかっているのに注意しましょう。
- 余震が続いており、足止めされることも考えられます。余裕を持った予定を組みましょう。

ボランティア情報ホームページへのリンク

- 東日本大震災支援全国ネットワーク・ボランティア受入先情報 ⇒ <http://www.jpn-civil.net/>
- 災害ボランティア受入状況、保険などの情報（東京ボランティア・市民活動センター）
⇒ <http://www.tvac.or.jp/di/20960.html>

被災を免れた近隣の観光地へ行くことも支援につながります

- 被災地ではない観光地では、風評被害に苦しんでいます。無理にボランティアをしないでも、観光へ出かけてお金を使うことでも支援につながります。
- 緊急車両などの妨げになるマイカー利用は自粛し、公共交通で出かけましょう。鉄道は被災地以外はほぼ平常運行しています（裏面参考）。



鉄道・バスを使えば、いざという時も安全・安心

（裏面に鉄道運行情報）

東日本大震災やその後の余震・原発災害等で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

3月11日の震災は甚大な被害をもたらしましたが、高速走行していた新幹線と在来線鉄道を含め死傷者はゼロでした。列車ごと流される被害もありましたが、大津波警報の発令とともに指令室から乗務員に避難指示が出され、全員が避難し無事だったそうです。

これに比べてマイカーでの移動は孤立してしまうので、崖崩れなどで被災しても誰からも見つけてもらえない場合があるなど、とても危険です。特に慣れない土地へ出かける際は、安心して安全な鉄道やバスを利用しましょう。

